

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ

(追加型投信/海外/株式)

(追加型投信/国内/債券)



※課税上は株式投資信託として取扱われます。

投資者の皆さまへ
(販売用資料)

目論見書のご請求・お申込みは…

大和証券

Daiko Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会
社団法人 金融先物取引業協会
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…

大和投資信託

Daiko Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 社団法人 投資信託協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド：オーストラリア高配当株

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ：マネー・ポートフォリオ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和証券投資信託委託株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料で使用したMSCIデータおよびMSCIインデックスについて：MSCIインデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。S&Pインデックスは、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービス エル エル シーの登録商標です。

(2012年2月)



高い配当利回り

高配当株投資による高い配当収益を享受

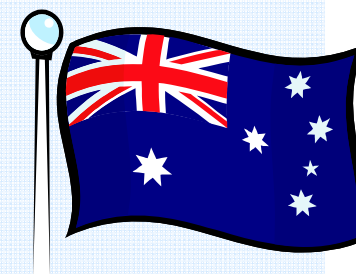
過去においても、オーストラリア高配当株式は良好なパフォーマンス



株価の上昇期待

魅力的な投資環境

国債利回りを上回る株式の配当利回り水準
足元での出遅れ感と割安なバリュエーション
適切な金融政策による景気回復期待



豪ドルの上昇期待

経済ファンダメンタルズは良好

資源需要の回復
(資源価格の上昇)

金融緩和
(内需の刺激)

健全な財政
(高い信用力)

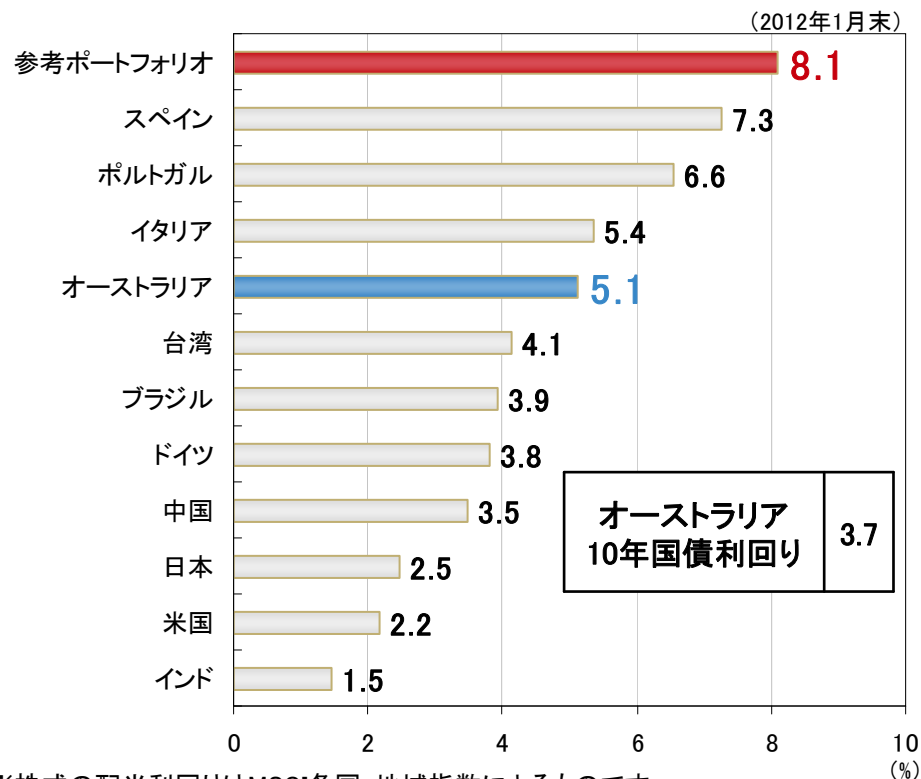
オーストラリア高配当株式に注目！

高い配当利回り水準にあるオーストラリア株式

- オーストラリア株式の予想配当利回りは、世界各国と比較して高い水準にあります。過去の推移を見ても、配当利回りは一貫して日米を上回る水準で推移しています。
- ファンドは、配当面で魅力あるオーストラリア株式を投資対象とし、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資します。



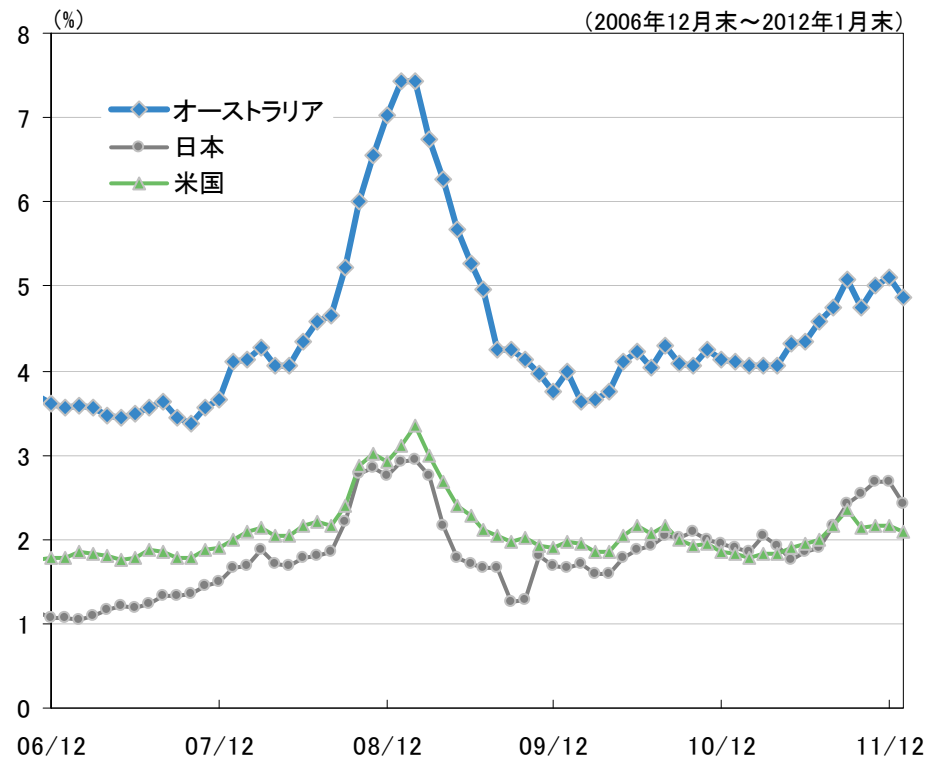
各国・地域の予想配当利回りの比較



※株式の配当利回りはMSCI各国・地域指数によるものです。
 ※外貨建資産には為替リスク等があります。税金等諸費用は考慮していません。
 ※参考ポートフォリオは、2012年1月末時点でファンドと同様の運用方針により構築したものです。ファンド設定後の実際の運用に適用されるとは限りません。



オーストラリアと日・米の配当利回り(実績)の推移



※配当利回り(%) = (1株当たり配当金 ÷ 株価) × 100

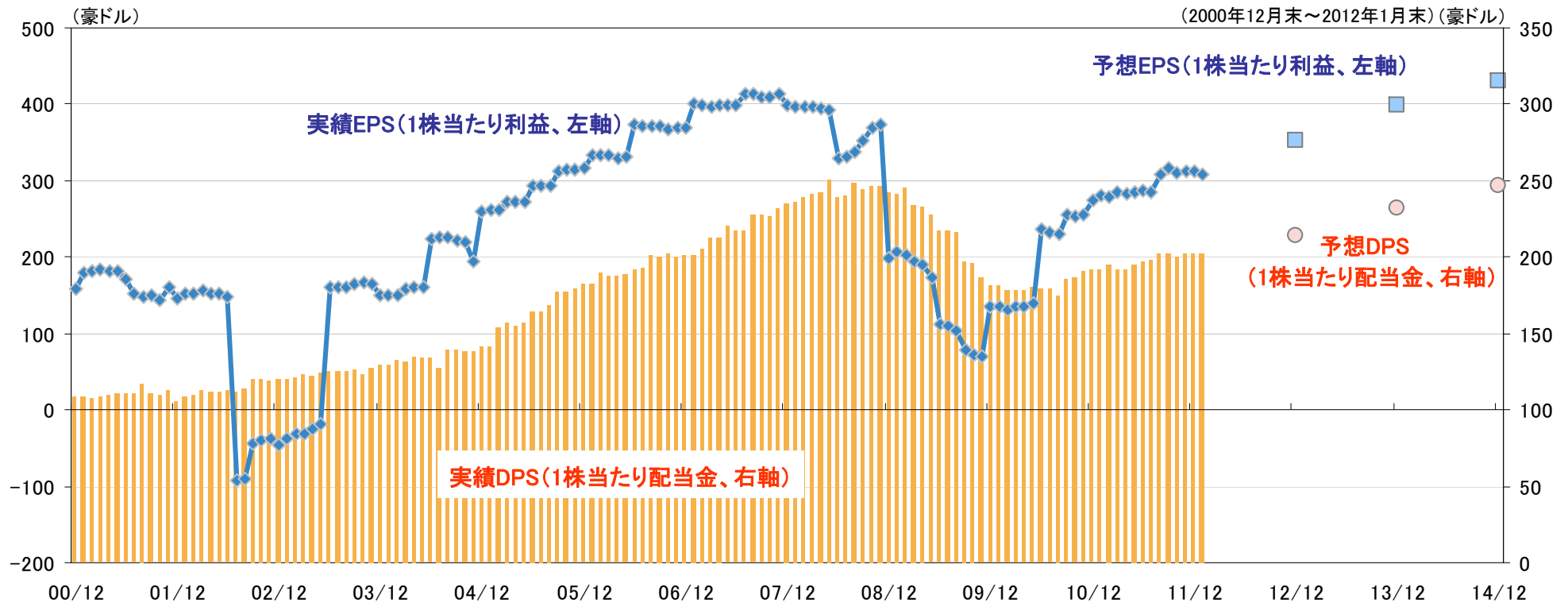
(出所)MSCI Inc.、ブルームバーグ

オーストラリア株式の配当金は安定的に推移

- オーストラリア企業は、業績好調時には利益成長に連動する形で配当を増額しています。また業績不振時においても、比較的安定した配当を続けています。
- 今後については、好調な業績が予想され、利益成長に伴う着実な配当が見込まれます。



オーストラリア企業の利益と配当の推移



※オーストラリア企業の利益と配当：S&P ASX200指数。
 ※予想EPS、予想DPSは左から2012年、2013年、2014年。
 ※ブルームバーグが集計したアナリスト予想の平均値(2012年2月時点)。

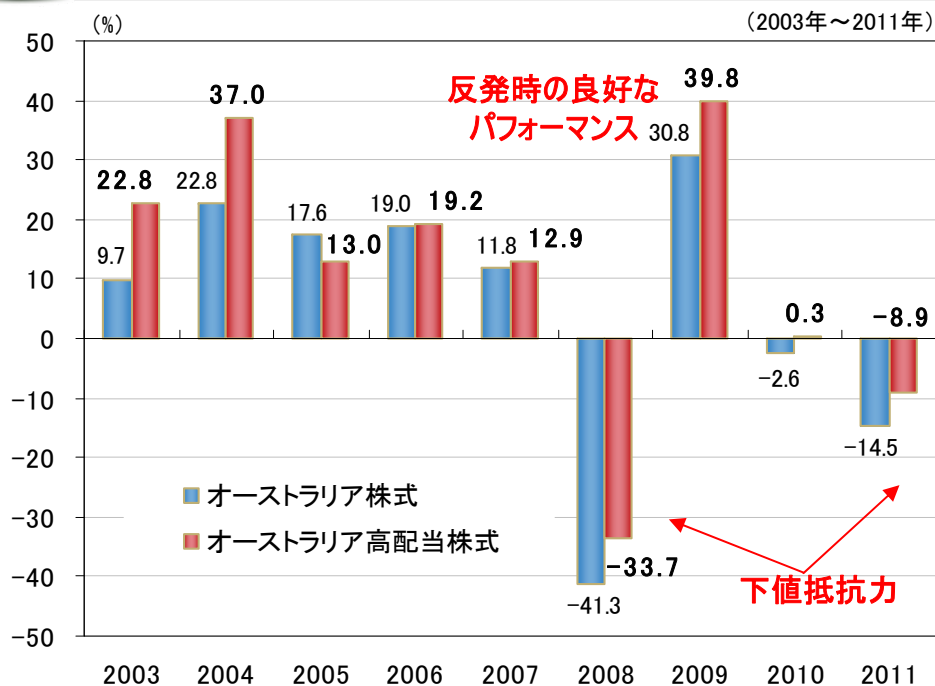
(出所)ブルームバーグ、S&P

オーストラリア高配当株式は良好なパフォーマンス

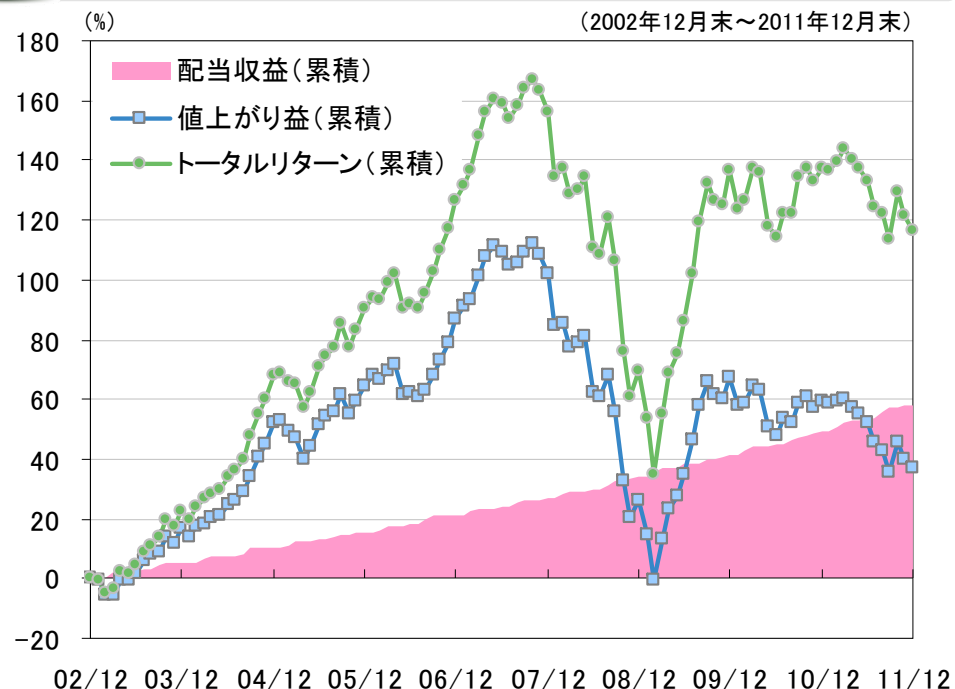
- オーストラリア株式の中でも高配当株式は、過去においておおむね市場平均を安定的に上回るパフォーマンスとなっています。
- オーストラリア高配当株式のトータルリターンの内訳を見ると、配当収益の積み上げが大きく貢献していたことがわかります。



オーストラリア高配当株式の年間騰落率



オーストラリア高配当株式のトータルリターンの内訳



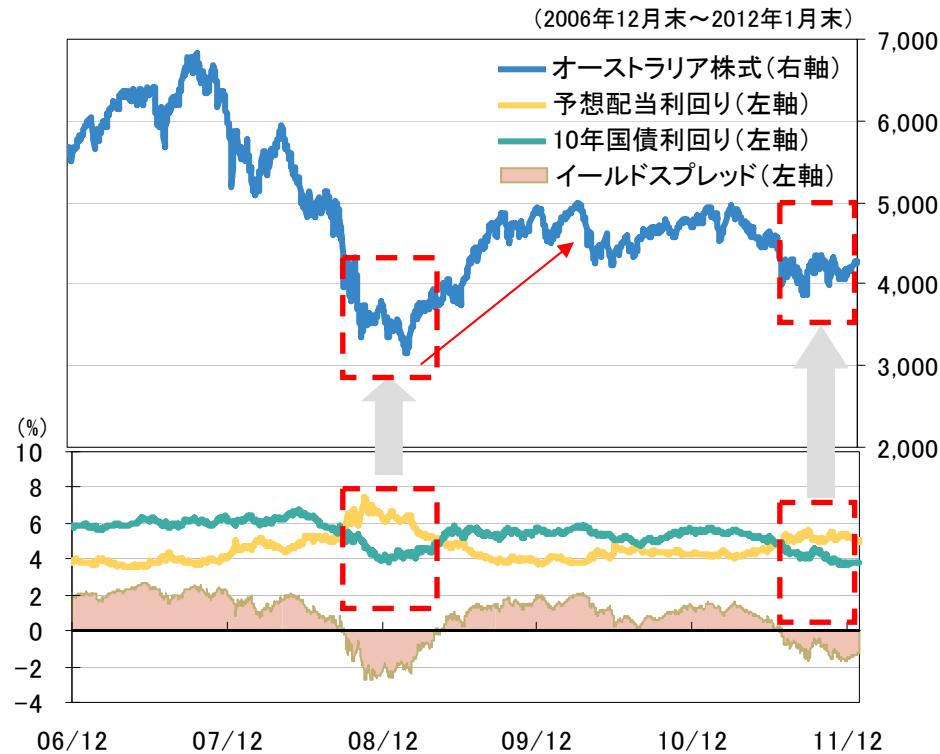
※オーストラリア株式: S&P ASX200指数、
 オーストラリア高配当株式: S&P ASX Dividend Opportunities指数。
 ※S&P ASX Dividend Opportunities指数は、高配当銘柄50銘柄から構成される指数です。
 構成銘柄は、銘柄分散や業種分散、流動性などを勘案して決定されます。

※トータルリターン(累積)はS&P ASX Dividend Opportunities指数(配当込み)の騰落率。
 値上がり益(累積)はS&P ASX Dividend Opportunities指数(配当なし)の騰落率。
 トータルリターン(累積)は配当を再投資したもとして計算されます。配当収益(累積)は
 トータルリターン(累積)から値上がり益(累積)と配当の再投資分を控除して計算しているため、
 値上がり益(累積)と配当収益(累積)の合計はトータルリターン(累積)には一致しません。
 (出所)ブルームバーグ、S&P

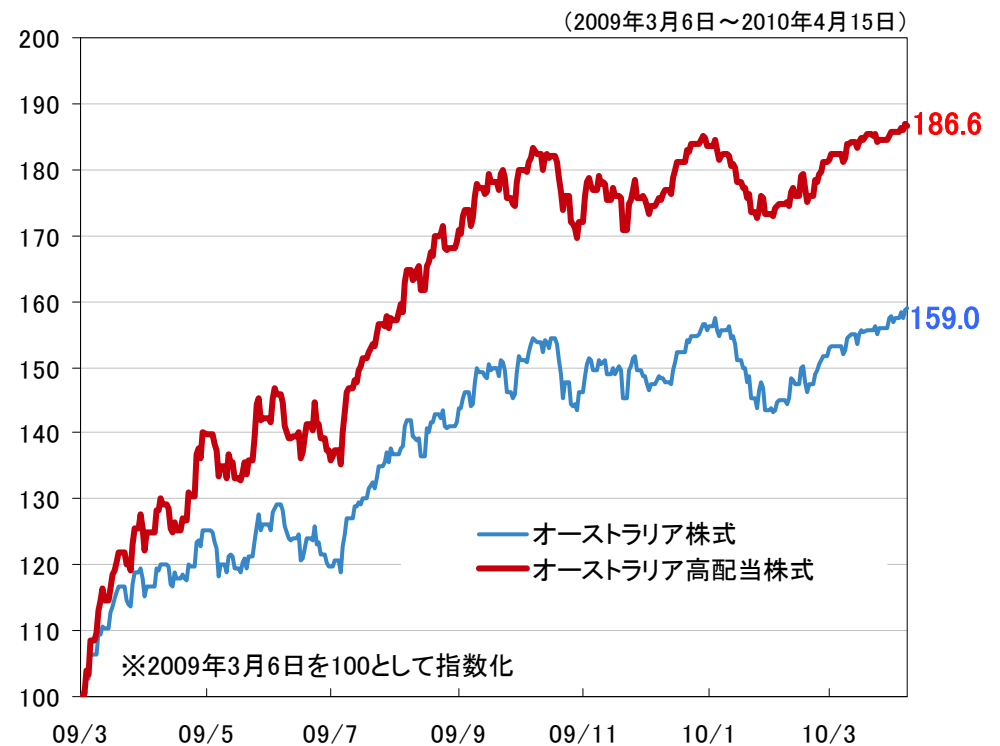
国債利回りを上回る株式の配当利回り水準

- 現在のオーストラリアは、株式の予想配当利回りが10年国債利回りを上回る逆イールドスプレッド状態にあり、株式が債券に対して割安な水準にあります。
- 過去、同様の状態が見られた際には、その後の株価は急反発しており、中でも高配当株式は市場平均を上回る良好なパフォーマンスとなりました。

オーストラリア株式とイールドスプレッド*



イールドスプレッド*逆転時の底値からの株価反発局面



* イールドスプレッド=10年国債利回りー予想配当利回り
 ※オーストラリア株式:S&P ASX200指数、オーストラリア高配当株式:S&P ASX Dividend Opportunities指数。
 ※外貨建資産には為替リスク等があります。税金等諸費用は考慮していません。

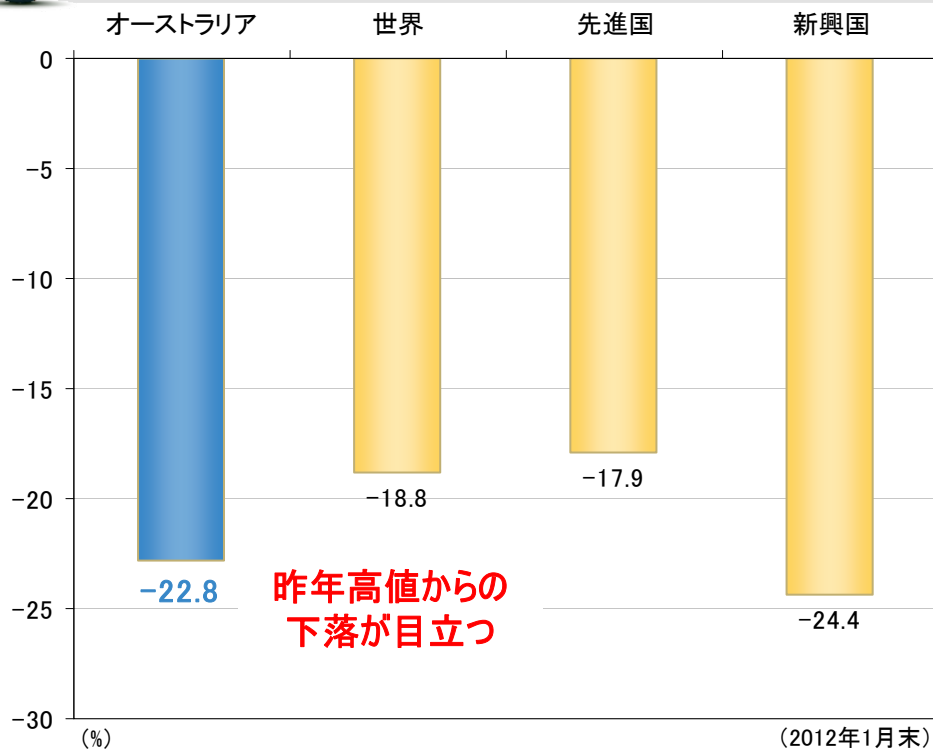
(出所)ブルームバーグ、S&P

足元での出遅れ感と割安なバリュエーション

- オーストラリアの株式は、昨年高値から見ると他国に比べて大きく下落しました。
- PER(株価収益率)、PBR(株価純資産倍率)で株価の位置を見ると、現在のオーストラリア株式は2008年のリーマン・ショック時と同程度の割安な水準にあります。



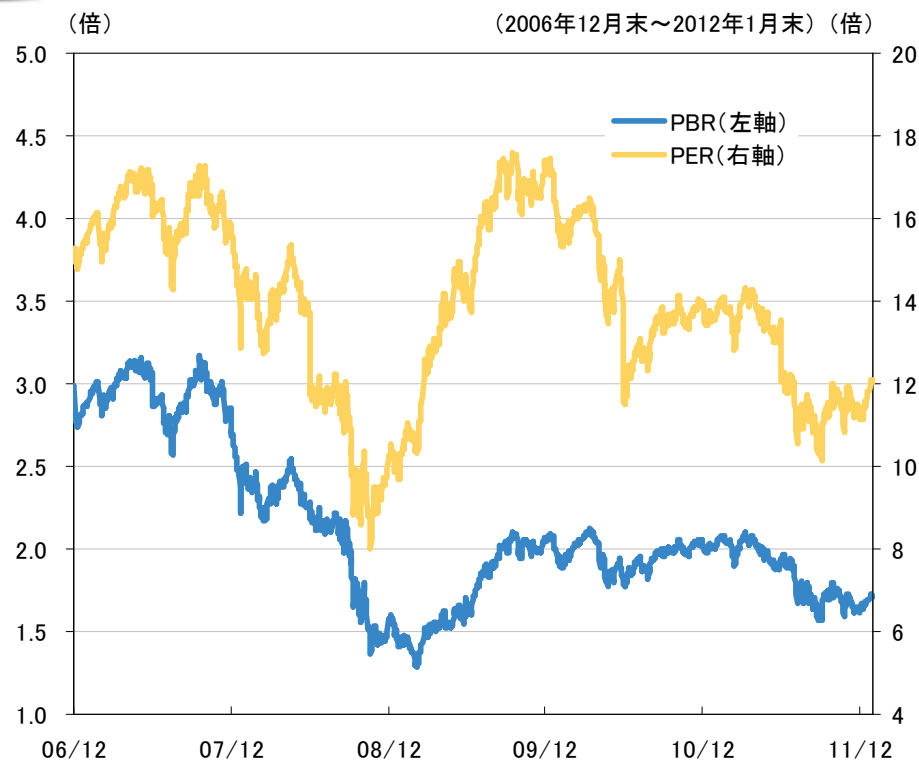
昨年(2011年)高値からの株価指数の下落率



※オーストラリア: MSCIオーストラリア指数、世界: MSCIオールカントリー・ワールド指数、先進国: MSCIワールド指数、新興国: MSCIエマージング・マーケット指数。
いずれも円換算。
※各株価指数が昨年高値を付けた時点はそれぞれ異なります。



オーストラリア株式のPER・PBRの推移



※オーストラリア株式: S&P ASX200指数。
※PBRは実績、PERは予想。

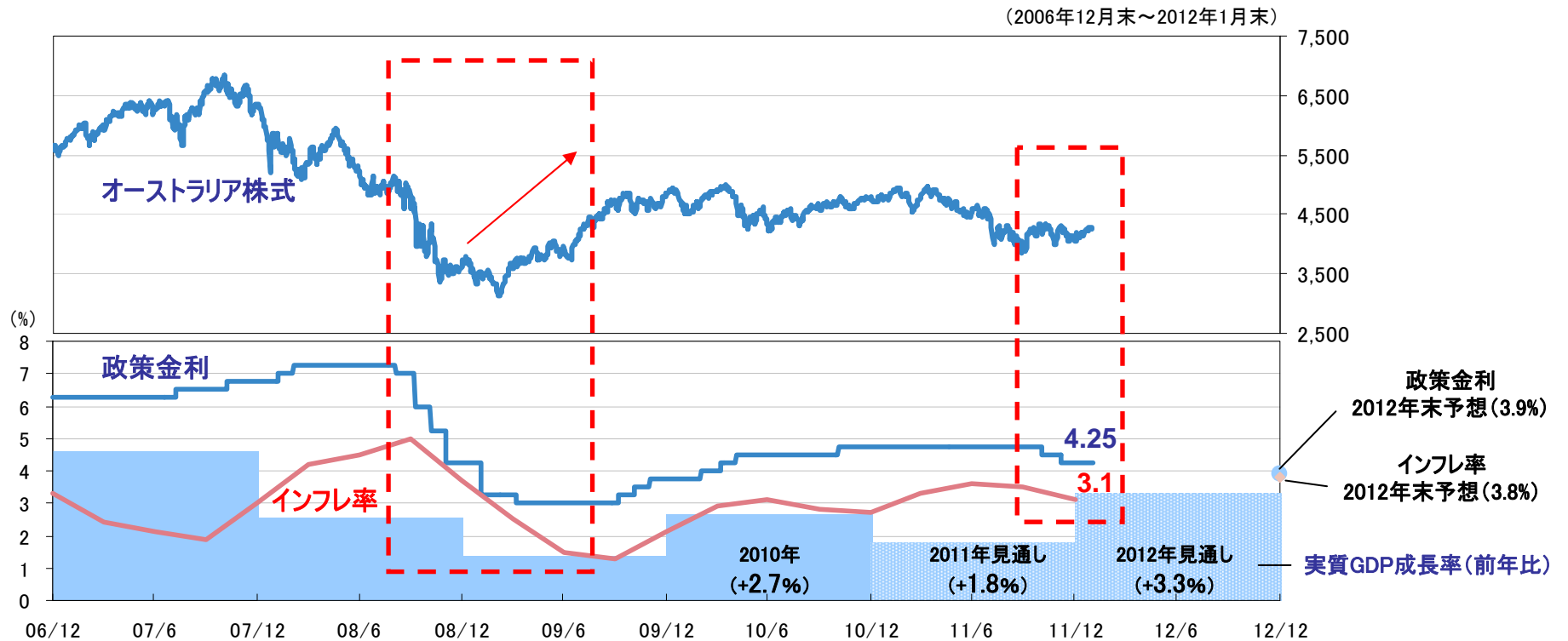
(出所)ブルームバーグ、MSCI Inc.、S&P

適切な金融政策による景気回復期待

- 世界景気の減速懸念や自国のインフレ率低下を受け、オーストラリア準備銀行は、2011年に政策金利を2回引き下げました。
- 一般的に、政策金利の引き下げは株式市場に好影響をもたらすと考えられ、2008年から政策金利が引き下げられた局面でも、将来の景気回復を織り込む形で株価は上昇に転じています。



オーストラリアの株式と政策金利、インフレ率の推移



※オーストラリア株式：S&P ASX200指数。

※政策金利は2012年1月末までの値。2012年末予想はブルームバーグが集計したもの(2012年2月時点)。

※インフレ率は四半期ごとに記載、2011年10-12月期までの値。2012年末予想はIMF見通し。

※実質GDP成長率は2011年以降IMF見通し。

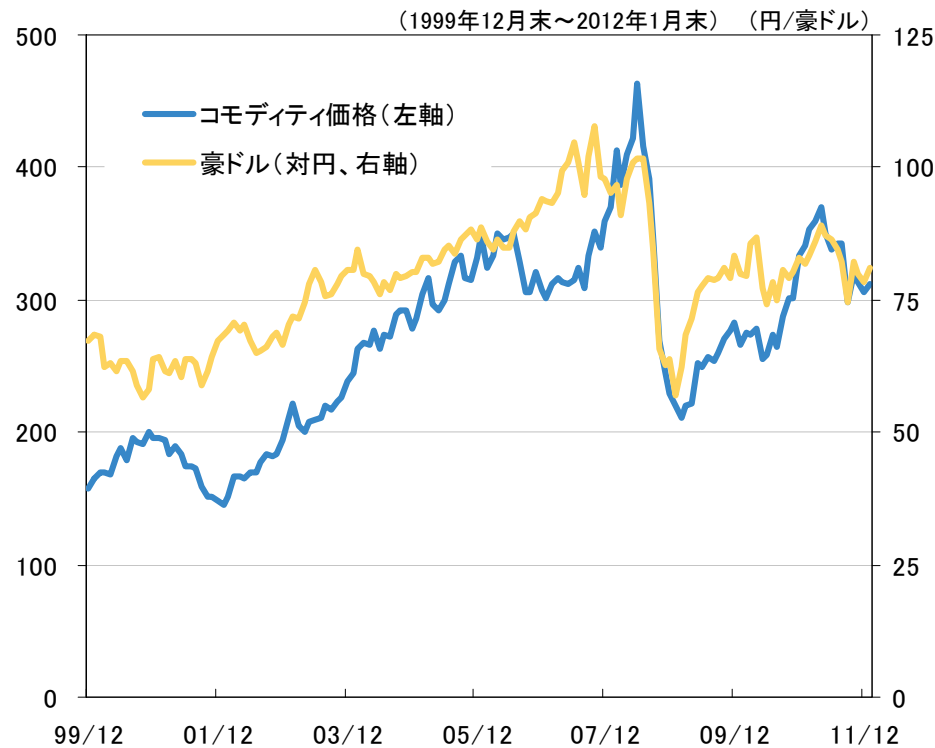
(出所)IMF「World Economic Outlook Database September 2011」、オーストラリア準備銀行、ブルームバーグ、S&P

資源国通貨の豪ドルは中長期的に安定

- 財政の健全性や相対的に高い金利水準等から、豪ドルの魅力は高いと考えられます。
- 豊富な資源を有するオーストラリアの通貨は、資源価格との連動性が高いという特徴が見られました。
- 過去、量的緩和等によりマーケットに潤沢な資金が供給される時には資源価格が上昇する傾向がありました。欧州債務問題を受け世界的に金融緩和傾向が強まる中、資源価格の上昇期待が高まります。



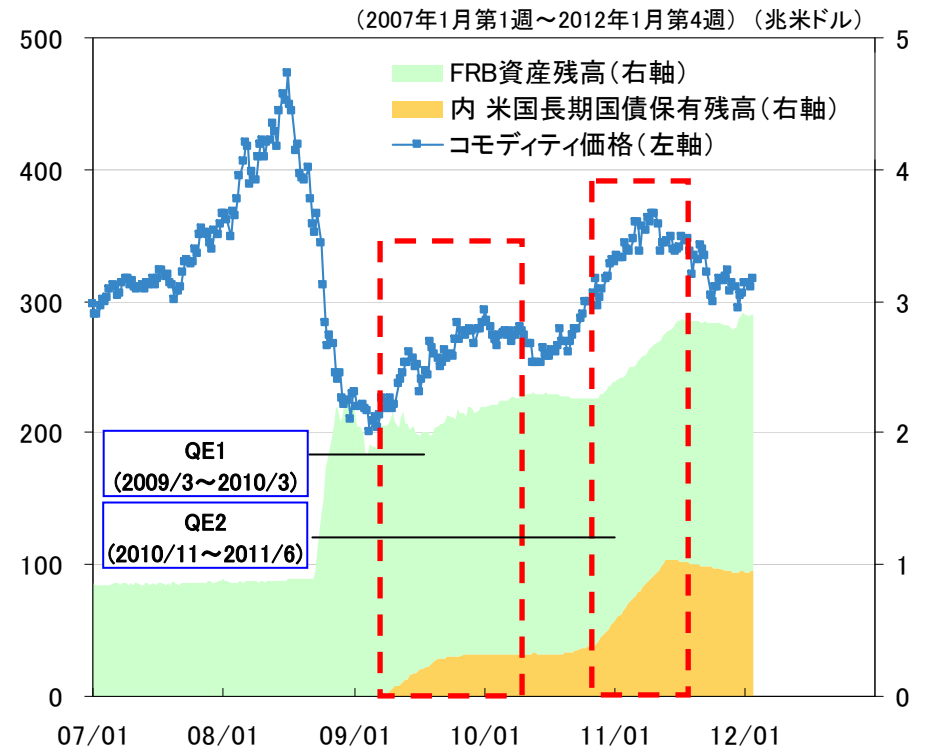
豪ドル(対円)とコモディティ価格の推移



※コモディティ価格:CRB指数。



コモディティ価格とFRB資産残高(週次)



※FRBは米国連邦準備制度理事会。

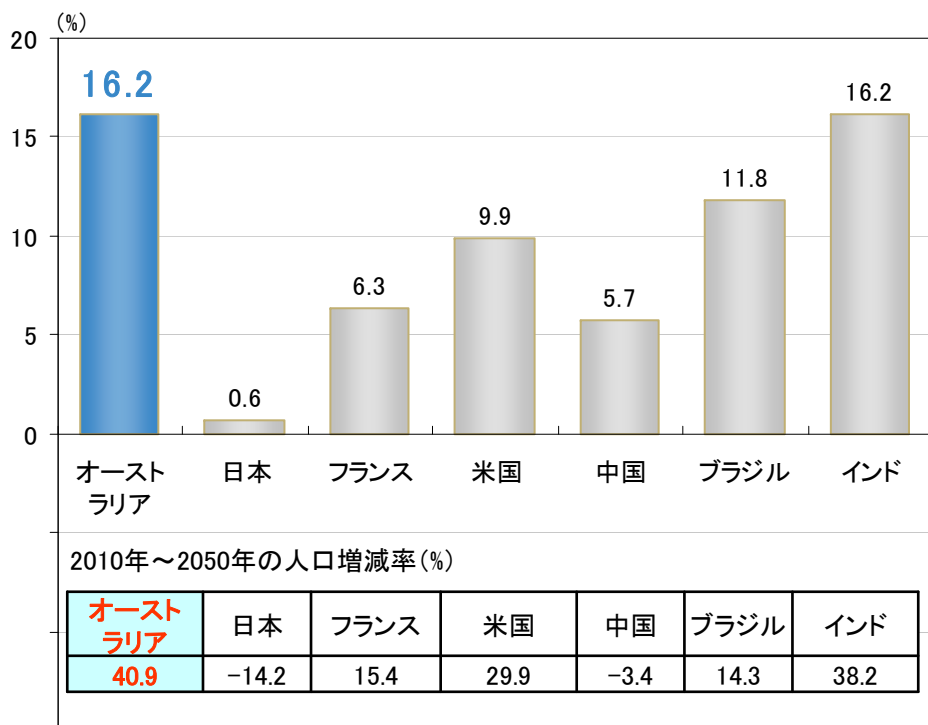
※QEとは、米国の量的金融緩和のことです。

(出所)米国クリーブランド連邦準備銀行、ブルームバーグ

政策金利の引き下げによる内需刺激に期待

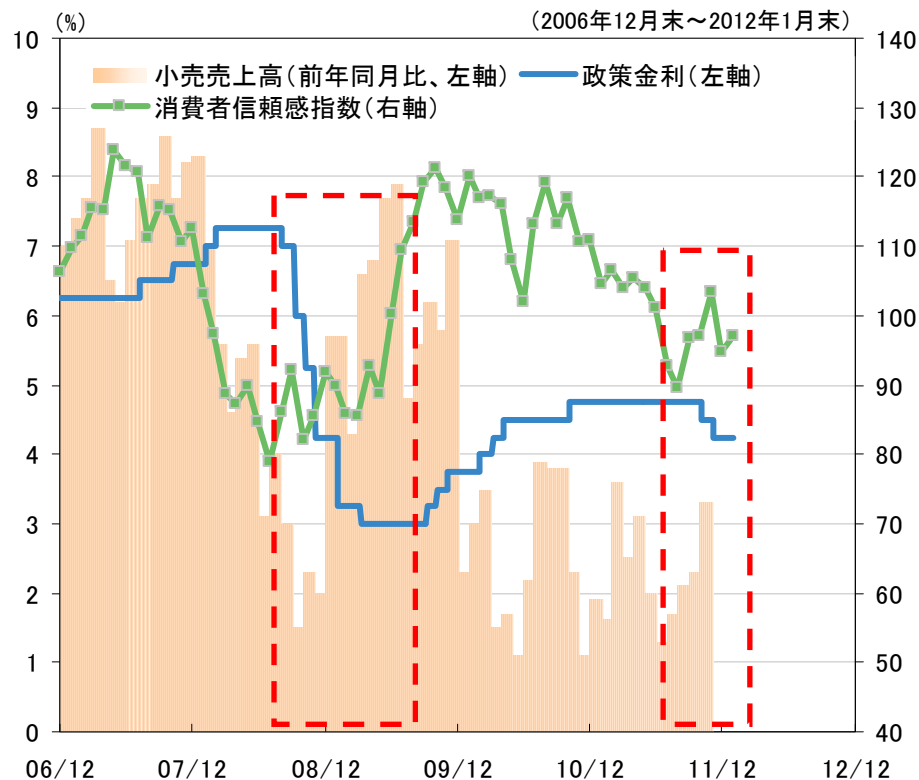
- 海外からの移住者が多いオーストラリアは今後の高い人口増加が予想されています。今後、人口増加による内需の拡大が見込まれます。
- 足元では、政策金利の引き下げに伴い小売売上高が増加しており、消費マインドも改善傾向にあります。

主要国の人口増減率(2000年～2010年)



※2010年～2050年の人口増減率は見通し。

小売売上高、消費者信頼感指数と政策金利の推移



※小売売上高は2011年11月まで。

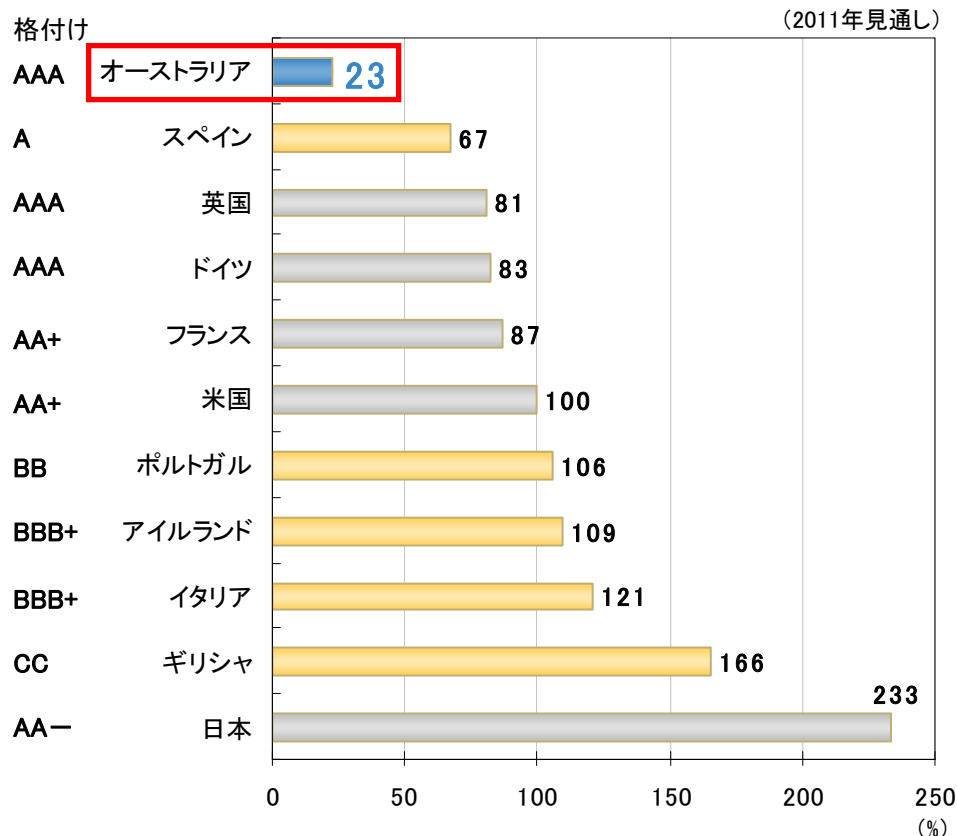
(出所)国際連合、ブルームバーグ

健全な財政を誇るオーストラリア

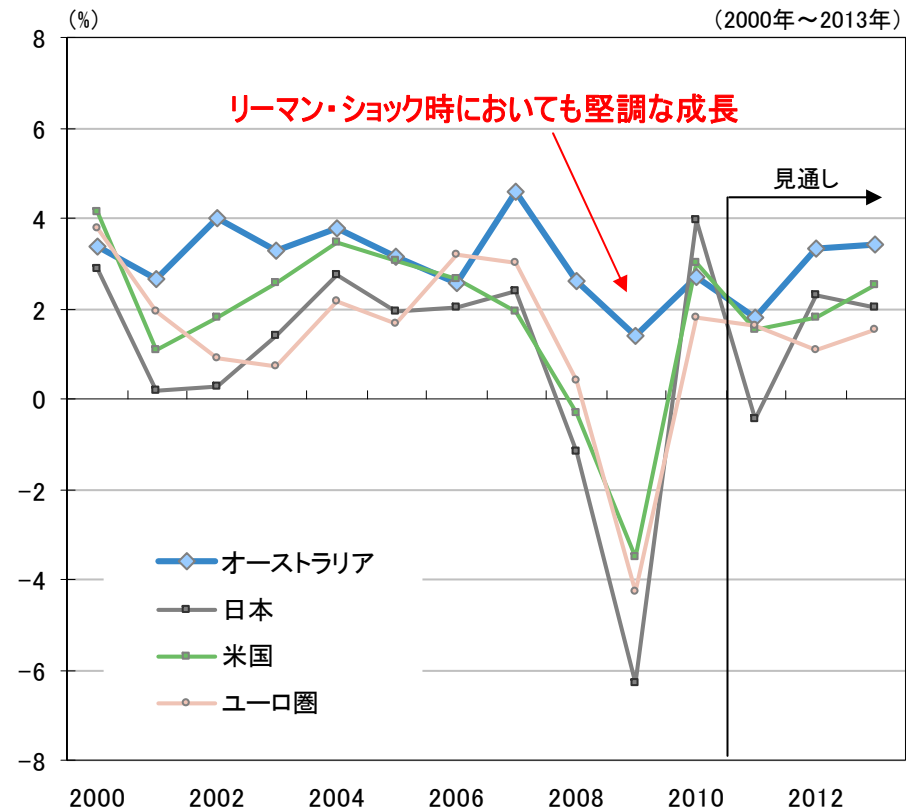
- 先進国の中で、オーストラリアの財政は健全です。
- また、オーストラリア経済は、今後も安定的な成長が見込まれています。リーマン・ショック時においても、健全な財政を背景に他国に先んじて景気刺激策を発動し、マイナス成長に陥ることなく相対的に堅調な成長を実現しました。



公的債務(名目GDP比)と格付けの国際比較



主要先進国・地域の実質GDP成長率(前年比)の推移



※格付けはS&P長期債務格付け(自国通貨建て)を使用しています。(2012年1月末時点)

(出所)IMF「World Economic Outlook Database September 2011」、S&P

(ご参考)

欧州の影響を受けにくいと考えられるオーストラリアの金融機関

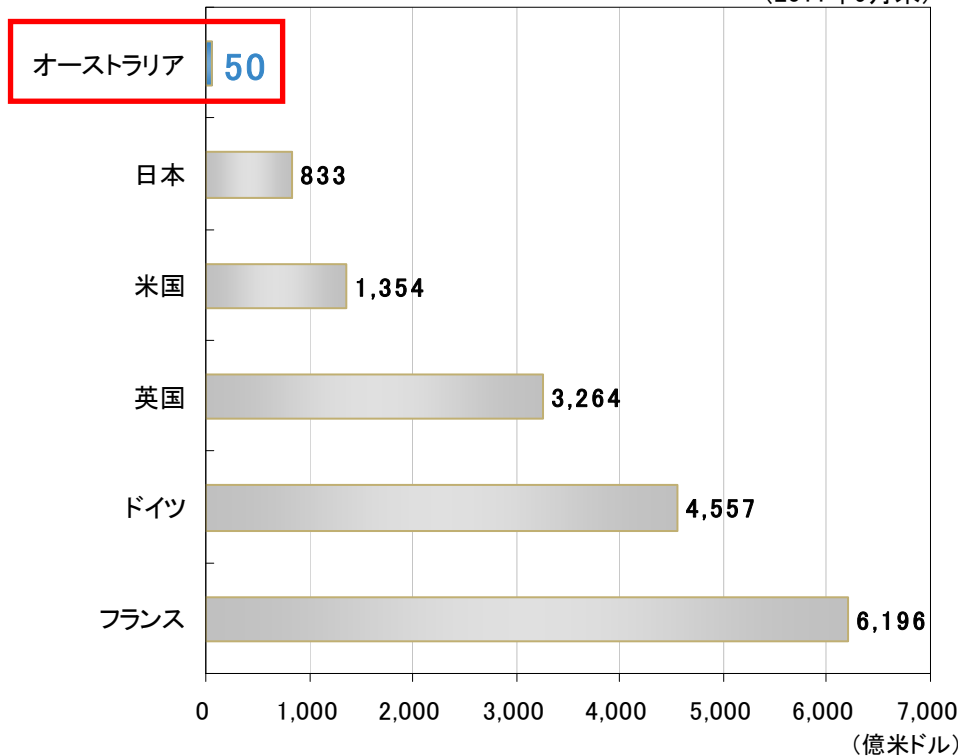
下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組入れることを保証するものではありません。

- オーストラリアの金融機関は、PIIGS諸国* 向けの債権残高が少なく、地理的にも欧州から遠隔に位置しているため、欧州の影響を受けにくいと考えられます。
- これらを背景に、オーストラリアの銀行の信用力は、主要先進国の代表的な銀行に比べて高い水準にあります。



各国金融機関のPIIGS諸国* 向け債権残高

(2011年9月末)



* PIIGS諸国: ポルトガル、イタリア、アイルランド、ギリシャ、スペイン。



オーストラリアと主要国の銀行の格付け

銀行	国	S&P	ムーディーズ	自己資本利益率 (ROE)	予想配当利回り
オーストラリア・コモンウェルス銀行	豪	AA-	Aa2	17.7%	6.7%
ウエストパック銀行	豪	AA-	Aa2	17.5%	7.9%
オーストラリア・ニュージーランド銀行グループ	豪	AA-	Aa2	15.2%	7.0%
ナショナル・オーストラリア銀行	豪	AA-	Aa2	13.1%	7.7%
バンク・オブ・アメリカ	米	A-	Baa1	0.0%	0.6%
HSBCホールディングス	英	A+	Aa2	9.5%	5.3%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日	A	-	4.0%	3.4%

※格付け、予想配当利回りは2012年1月時点。自己資本利益率は直近の通期決算時点のもの。

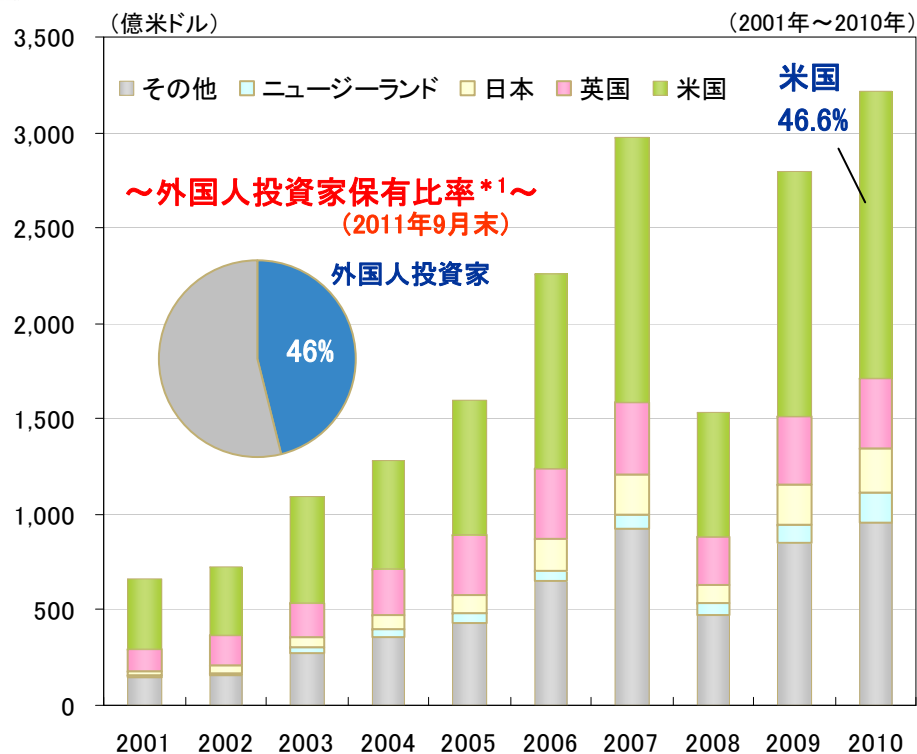
(出所) S&P、ムーディーズ、ブルームバーグ、国際決済銀行 (BIS)

オーストラリアの株式市場概況

- オーストラリア株式は外国人投資家の保有比率が高く、特に米国、英国の割合が高いことが特徴です。
- オーストラリアの株式市場の時価総額は約92兆円(2011年12月末時点)となっており、日本を下回るもののインドや韓国を上回る水準です。



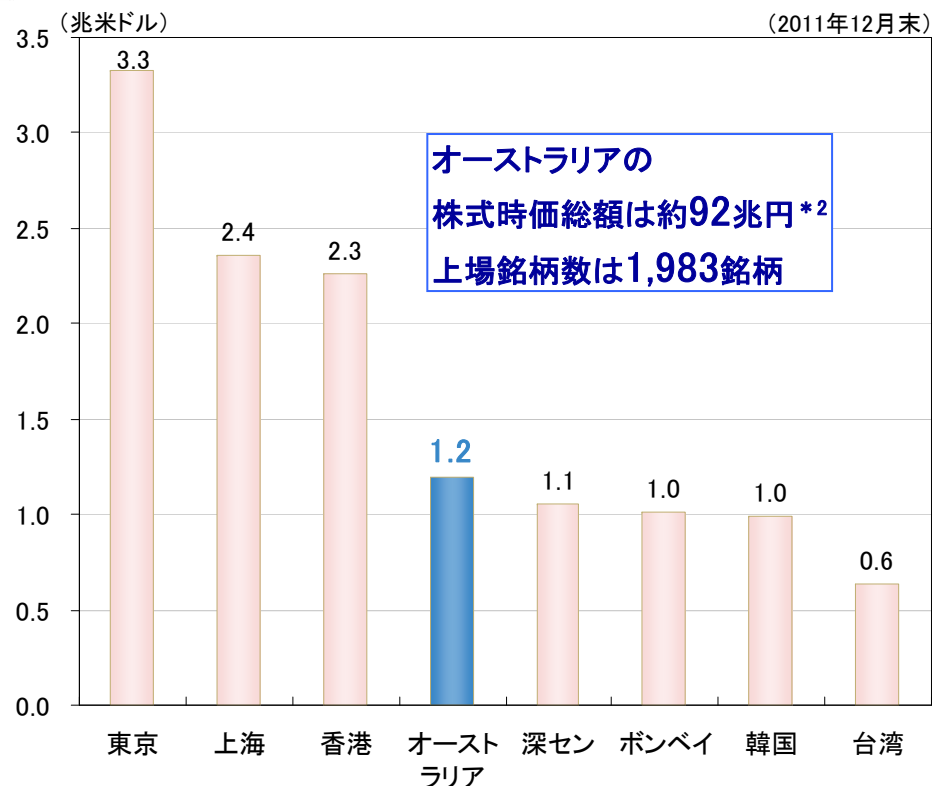
外国人投資家によるオーストラリア株式投資残高の推移



*1 外国人投資家保有比率は、オーストラリア証券取引所上場株式の外国人保有比率。
※外国人投資家によるオーストラリア株式投資残高の推移は、IMFのCPIS (証券投資残高共同調査)による。



各国・地域の株式時価総額の比較



*2 2011年12月末時点の為替レート(1米ドル=76.91円)で円換算。
※時価総額は、各国の代表的な金融商品取引所の数値。
(出所)ブルームバーグ、WFE(国際取引所連盟)、IMF、オーストラリア証券取引所

下記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組入れることを保証するものではありません。



ウェスファーマーズ（生活必需品）

ウェスファーマーズは、スーパーマーケットやホームセンターを主力事業とするオーストラリアの複合企業です。西オーストラリア州の農業協同組合が母体で、その後M&Aを重ね、約20万人を超える従業員を抱えるオーストラリア有数の大企業に成長しました。特に2007年に買収したスーパーマーケットのコールズは、2011年度決算では、支払金利前税引前利益の約35%を占めます。

(2012年2月時点)

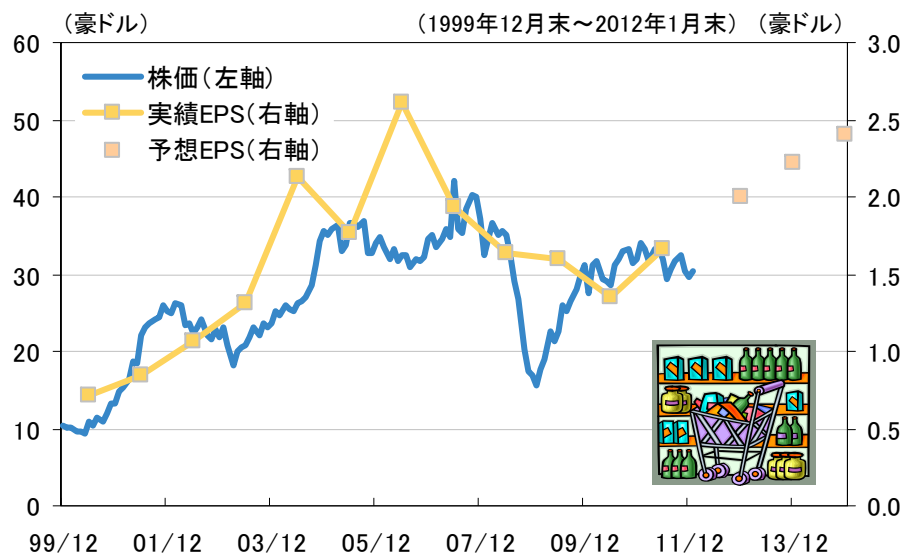
配当利回り(2012年予想)

5.9%

配当利回り(2013年予想)

6.5%

株価と実績・予想EPS(1株当たり利益)の推移



※予想EPSは左から2012年、2013年、2014年。
※ブルームバーグが集計したアナリスト予想の平均値(2012年2月時点)。



オーストラリア・ニュージーランド(ANZ)銀行グループ（銀行）

オーストラリア・ニュージーランド(ANZ)銀行はオーストラリア四大銀行の1つです。安定的な住宅ローンなどの国内向けビジネスを主力としつつも、企業向け金融やアジアを中心とする海外展開に強みがあることが特徴です。四大銀行による高い市場占有率、底堅い住宅市場、資源開発をけん引役とする堅調な国内経済等から、収益基盤は安定的だと考えられます。

(2012年2月時点)

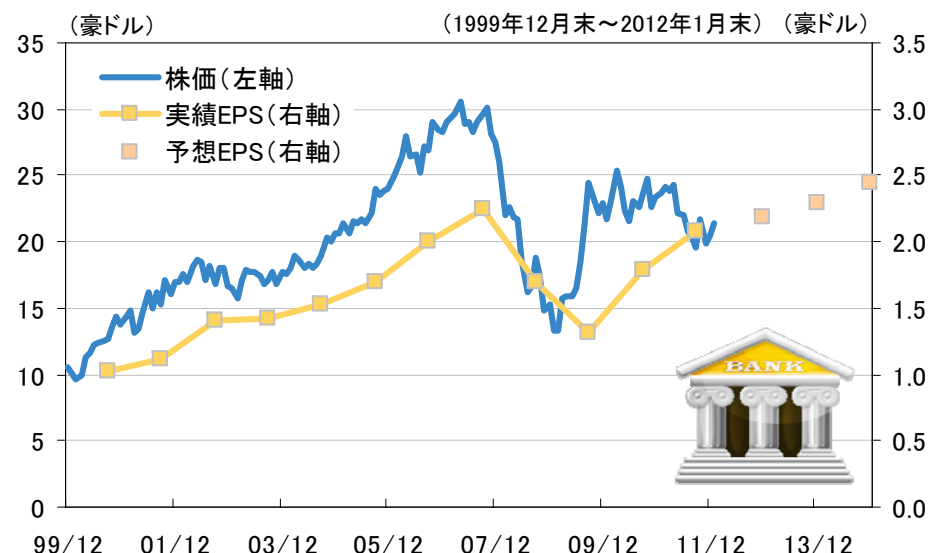
配当利回り(2012年予想)

7.0%

配当利回り(2013年予想)

7.2%

株価と実績・予想EPS(1株当たり利益)の推移



(出所)ブルームバーグ

ファンドの特色

オーストラリア高配当株



1. オーストラリアの株式等の中から、相対的に予想配当利回りの高い銘柄に投資します。

- 株式等にはリート(不動産投資信託)を含みます。
- 予想配当利回りについては、原則として情報提供会社のデータを用いて計算します。予想と異なり、配当金額が減額される場合があります。

2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。

- 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。
- 投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。
- 株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。

<オーストラリア高配当株>は、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

- ・マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
- ・マザーファンドにおいて、株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
- ・為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

マネー・ポートフォリオ

1. 円建ての債券を中心に投資します。

投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。

<マネー・ポートフォリオ>は、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

【分配について】毎年3月21日および9月21日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

	オーストラリア高配当株	マネー・ポートフォリオ
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等とします。	
	原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

スイッチング(乗換え)について

- <オーストラリア高配当株>と<マネー・ポートフォリオ>との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。
- <マネー・ポートフォリオ>の購入は、スイッチング(乗換え)による場合のみとなります。

新規・追加の
購入

オーストラリア高配当株

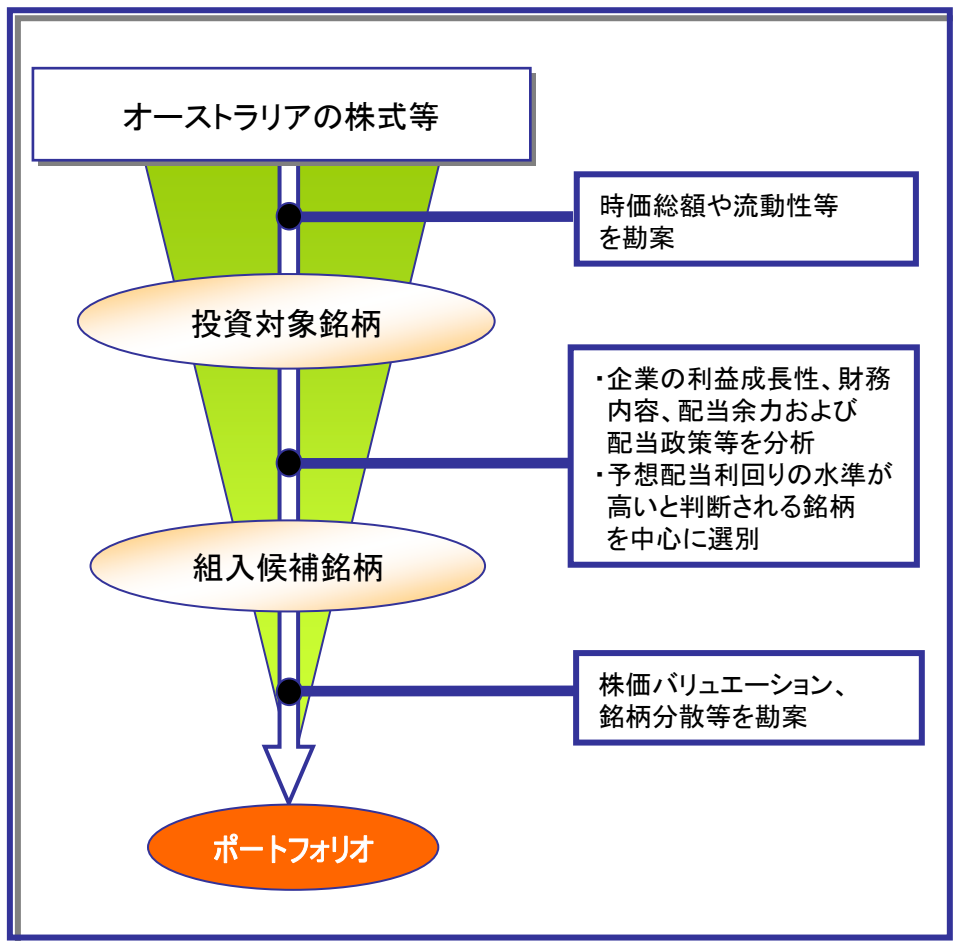
スイッチング(乗換え)の申込み

マネー・ポートフォリオ

オーストラリア高配当株のポートフォリオ構築プロセス

ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。

- ◆時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。
- ◆投資対象銘柄の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心に、組入候補銘柄を選別します。
- ◆株価バリュエーションや銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。



高配当株ポートフォリオを維持する運用

ポートフォリオへの組み入れ

高配当株

着目点

- ・高い配当利回り
- ・時価総額や流動性
- ・事業の安定性（シェア）
- ・競争力（新商品の開発力）
- ・業績見通し（企業収益の見通し）

高配当株
ポートフォリオ
を維持

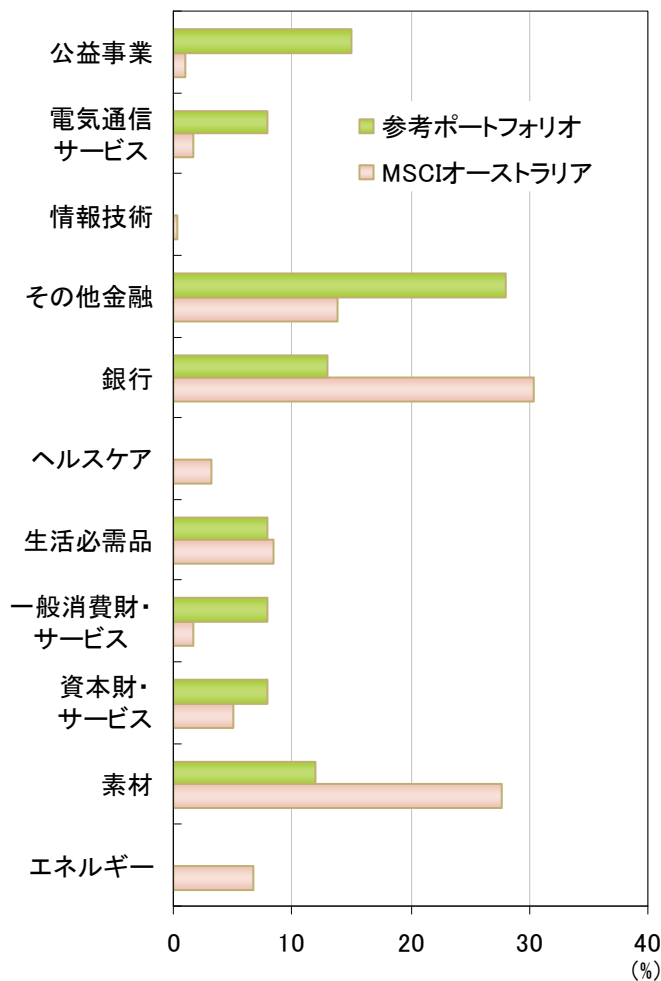
業績低迷や減配予想を原因とした株価下落による高い配当利回り銘柄や、バリュートラップ(万年割安)銘柄を回避

オーストラリア高配当株の参考ポートフォリオ（2012年1月末時点）

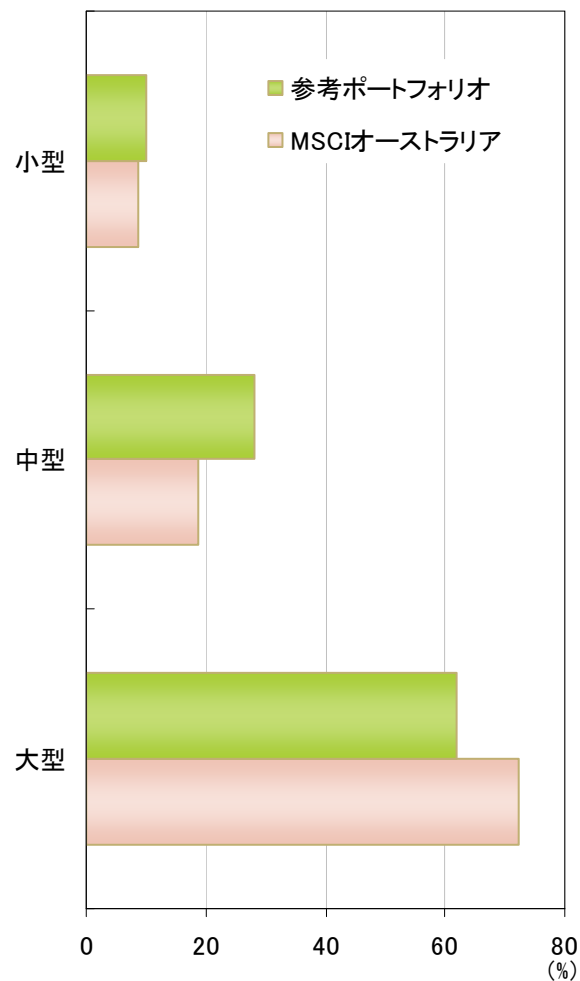
（注）参考ポートフォリオは、当ファンド設定後の実際の運用に適用されるとは限りません。



業種別構成比率

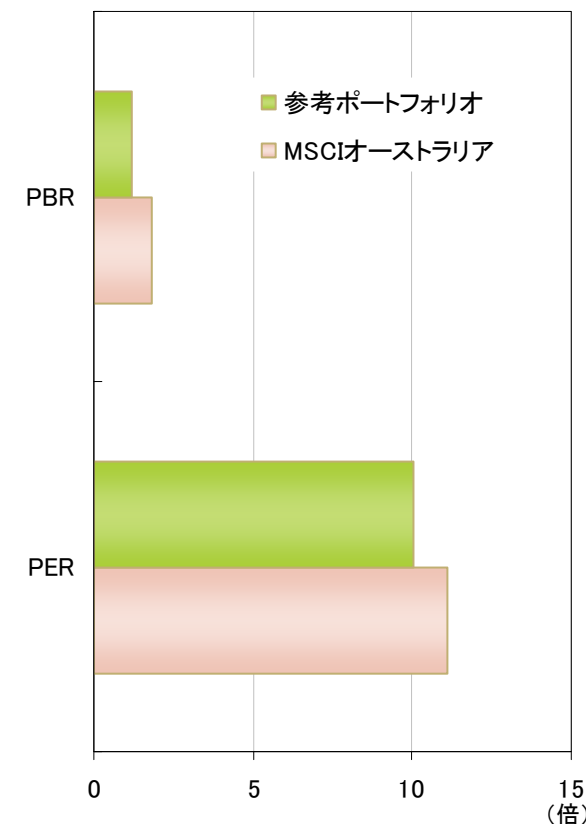


規模別構成比率



銘柄数とバリュエーション

銘柄数	31
配当利回り	8.1%



※業種は、GICS（世界産業分類基準）をもとに大和投資信託が分類。
 ※大型・中型・小型は、S&P ASX指数の分類をもとに大和投資信託が分類。
 ※PBRは実績、PERは予想。

（出所）MSCI Inc.、ブルームバーグ

投資リスク



基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

<主な変動要因>

オーストラリア高配当株

※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

価格変動リスク・信用リスク	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
株価の変動	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。
リートの価格変動	リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

マネー・ポートフォリオ

※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

公社債の価格変動 (価格変動リスク・信用リスク)	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。



その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。



リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行います。

ファンドの費用 当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

●お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	「オーストラリア高配当株」 購入金額に右記に掲げる率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口) × 購入口数 (当初1万口＝1万円) ※「マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング(乗換え)による場合のみとなります。
信託財産留保額	ありません。
スイッチング手数料	購入金額に 0.525% (税込) の率を乗じて得た額とします。 「マネー・ポートフォリオ」の購入には、スイッチング手数料はかかりません。

購入時手数料率

購入金額	手数料率(税込)
5,000万円未満	3.150%
5,000万円以上5億円未満	1.575%
5億円以上10億円未満	1.050%
10億円以上	0.525%

(ご参考)

口数指定で購入する場合

例えば、基準価額10,000円の時に100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。
 購入金額＝(10,000円／1万口) × 100万口＝100万円
 購入時手数料＝購入金額(100万円) × 3.15%(税込)＝31,500円
 となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万1,500円をお支払いいただくこととなります。

金額指定で購入する場合

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。
 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

●お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して次に掲げる率			
	<table border="1"> <tr> <td>オーストラリア高配当株</td> <td>年率1.575% (税込)</td> </tr> <tr> <td>マネー・ポートフォリオ</td> <td>各月ごとに決定するものとし、各月の1日から各月の翌月の1日の前日までの当該率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.525(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年率0.945% (税込)を超える場合には、年率0.945% (税込)とします。</td> </tr> </table>	オーストラリア高配当株	年率1.575% (税込)	マネー・ポートフォリオ
オーストラリア高配当株	年率1.575% (税込)			
マネー・ポートフォリオ	各月ごとに決定するものとし、各月の1日から各月の翌月の1日の前日までの当該率は、 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.525(税込) を乗じて得た率とします。ただし、当該率が 年率0.945% (税込) を超える場合には、 年率0.945% (税込) とします。			
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。			

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

お申込みメモ(大和証券でお申込みの場合)

購入単位	1,000円以上1円単位(注)または1,000口以上1口単位 なお、「マネー・ポートフォリオ」の購入は、スイッチング(乗換え)による場合のみとなります。 (注)購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、1,000円以上1円単位で購入いただけます。 ※ただし、スイッチングの場合は、1口単位です。		
購入価額	当初申込期間	1万口当たり1万円	
	継続申込期間	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)	
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。		
申込受付中止日	「オーストラリア高配当株」: オーストラリア証券取引所の休業日 (注)申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。		
申込締切時間	午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)		
購入の 申込期間	当初申込期間	平成24年3月1日から平成24年3月21日まで	
	継続申込期間	平成24年3月22日以降	
設定日	平成24年3月22日		
当初募集額	「オーストラリア高配当株」: 1,050億円を上限とします。		
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。		
購入・換金申込受付の 中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止(「オーストラリア高配当株」のみ)その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。		
スイッチング(乗換え)	「オーストラリア高配当株」と「マネー・ポートフォリオ」の間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。		
信託期間	平成24年3月22日から平成29年3月21日まで 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。		
繰上償還	「オーストラリア高配当株」および「マネー・ポートフォリオ」: 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき 「マネー・ポートフォリオ」:「オーストラリア高配当株」が繰上償還となる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還させます。		
決算日	毎年3月21日および9月21日(休業日の場合、翌営業日)		
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注)当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 ・分配金再投資コースをご利用の場合 収益分配金は、税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 ・分配金支払いコースをご利用の場合 収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。		
信託金の限度額	各ファンドについて1,500億円		
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	受託会社	みずほ信託銀行株式会社
			販売会社 大和証券株式会社 ほか